

令和3年度 第1回あきる野市健康づくり推進協議会(書面開催) 報告

(1) 令和2年度の主な健康課事業について		
番号	委員からの意見	事務局コメント
1	・がん検診の表に要精検者数の割合(%)が入ると分かりやすいと思う。	割合や単位については今度表記し、分かりやすい資料の作成に努めます。 令和2年度の要精密検査数の割合(要精検率)は、胃がん4.9%、肺がん2.5%、大腸がん6.7%、乳がん7.5%、子宮がん0.7%という結果でした。
2	・休日、夜間に体調を悪くする人は多い。今後も指定した医院を決め、全市民に知ってもらうことが大切です。	休日診療・準夜診療及び休日歯科診療につきましては、あきる野市医師会及び西多摩歯科医師会のご協力のもと実施しております。実施日につきましては、広報紙、ホームページ、メール配信などにより周知しております。引き続き、広く市民に周知できるよう努めてまいります。
3	・がん検診、特定健診、その他色々きめ細かく事業実施していただきありがとうございます。	今後とも受診率向上に向けて対応を検討してまいります。
4	・がん検診、特定健診を受診してお世話になっております。	
5	・書面での開催を体験し、新型コロナの生活の変化を感じました。	今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら健康づくり事業を進めてまいります。
6	・がん検診、各種検診結果の要精検者数があきる野市は多く感じられます。他の市と比率を知りたいです。	平成30年度の報告ではありますが、あきる野市の要精検率は、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんの5項目全てにおいて、都平均を下回っております。また、区市町村の順位で見ても、62区市町村中42位から53位までとなっております。
7	・地域イキイキ元気づくり事業では、集まれないので市から担当者の電話、自宅訪問大変ですが、一人住まいの方達には、力になったと思います。	定期的に訪問させていただいたことで、生活環境や自宅で生活している様子など把握することができました。参加者の方は、人との接触を避けて生活していたため、訪問させていただくと近況報告や困り事など多くのことを話していただけます。訪問をきっかけに関係機関に繋ぐ支援をしたケースがあります。
8	・妊娠届受理の人数を、コロナ前後と比較した人数を知りたい。	新型コロナウイルス感染症が流行する前である平成30年度は475件、令和元年度は453件、流行した令和2年度は429件となっており、毎年20件程度減少しています。
9	・21のコロナパンチ大作戦は良かったと思います。高齢者はホームページの情報提供は多分見られないので、皆様にどう伝えるか考えてみてください。	ホームページに掲載していた「コロナパンチ!大作戦!!」の内容は、リーフレットを作成し、図書館や体育館など市の関連施設に設置しておりましたが、施設の休館や利用制限等と重なり高齢者の方の手に届くことが少なかったと思われます。健康づくり市民推進委員の協力のもと、地域で配布していただいたり、地域イキイキ元気づくり事業の参加者に配付するなど、高齢者の方々に情報提供できるよう対応してまいります。
10	・コロナ禍という特殊かつ未経験の環境の中でも、様々な工夫をしながら取り組まれたことが伝わります。	今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら健康づくり事業を進めてまいります。
11	・がん検診など受診率が高くないものについて、向上策の検討実施が必要だと思われそうですが、今までの経緯を含め教えていただければ幸いです。	健(検)診の受診率の向上に向けた取組については重要であると考えており、引き続き、受診率の向上に努めてまいります。 ・特定健診について 令和2年度は、積極的な受診勧奨を控えていたため、未受診者対応を実施していませんでしたが、令和3年度は未受診者の受診勧奨として、はがきの送付を実施しております。 ・がん検診について 令和2年度は、受診者の人数を制限したため、追加申し込みや日程変更、項目追加等の対応をお断りしておりました。令和3年度は、日程変更と項目追加等に対応し、申し込みされた方が受診しやすいよう対応しております。人数制限のため、追加申し込みのお断りは継続しております。

(2) 令和3年度の主な健康課事業について		
	委員からの意見	事務局コメント
1	・ 検診費用の自己負担金が安くなったのはうれしい事です。	がん検診の自己負担額の変更につきましては、西多摩地域の他市町村と比較し、あきる野市の自己負担額が多かったことから、受診しやすい環境にするため減額することとなりました。
2	・ ピロリ菌検査これからの予定となっていますがいつ頃でしょうか。	令和3年度のピロリ菌検査事業は、9月に申し込みを受付し、10月26日に受診案内を発送後、12月20日までを検査期間として実施しております。
3	・ 夜間診療は大切です。休日と同じで年間を通して指定しておくことが大切。内科だけでもいいと思います。	平日の夜間診療につきましては、休日診療のように輪番制で実施はしていません。医療機関によっては、遅い時間まで診療を行っている医療機関もあり、それ以上の遅い時間では、救急対応やひまわりに連絡していただいております。
4	・ ワクチン接種を近くのかかりつけ医で接種できてよかったと、多くの方から話がありました。	医療機関のご協力のもと、集団接種会場と同じタイミングで個別医療機関（かかりつけ医）で実施することで、多くの方にかかりつけ医のもと接種を行うことができております。
5	・ 12歳以上から接種できるようになり本当によかったです。（塾、受験、中高大学生など集団で生活する時間が長く、クラスターが発生しやすい。）	ワクチンの入荷状況をみながら、接種券の送付を行ってきました。8月2日ですべての対象者に接種券を送付する事ができました。今後は、転入者や12歳になった方に接種券の送付を行っていきます。
6	・ 令和2年度より3年度の方が少しづつ動き出したように思えます。	感染防止対策を継続していることと、ワクチン接種が進み感染者数が減少してきたことで、次第に事業が再開できるようになり、市民の皆様にお会いできることを嬉しく思います。
7	<p>・ 新型コロナウイルス感染症関連の情報を発信するプロジェクトを提案します。</p> <p>現在市からはコロナ感染関連の情報は新規感染者数に限定されているように思われます。担当の職員の方々は件名に対応しており感謝しかありませんが、私たちが市民の大多数は連日増え続ける市内感染者の数の多さに驚き、どこで何が起きているのか、何がいけないのか？良くわからないまままだ嵐の過ぎ去るのを待っている状態です。</p> <p>そんな中、市民の行動はほぼ三極化しているように思います。①不安と恐怖でじっと動かないでいる高齢者 ②重症化しないから大丈夫だとメディアの情報でワクチン未接種のまま普通に行動してウイルスを拡散している若者たち ③感染リスクは承知していても外出せざるを得ない（未接種の）働き盛りの4、50代と子育てママ</p> <p>いまこそ正しく恐れ、正しく対応することが大切だと思います。（以下提案です）</p> <p>今市役所の各部署に配置されている専門家（保健師さんなど）を可能な限り集め、新型コロナ対応の専門家集団を立ち上げる。「仮名：新型コロナ対応あきる野プロジェクト」（以下：CAP）</p> <p>そして、以下の業務を行う。</p> <p>①現在西多摩保健所で一括コントロール（オーバーフロー？）しているが、さらにCAPが市内の患者から法で許される最大限の情報をプライバシーに配慮しつつトレースし、集積し、分析する。</p> <p>②市民に必要な情報を精査し、タイムリーにかつ繰り返し発信する。（広報のほか若者向けスマホでの発信も）当分の間やめてほしいこと、気をつければやっついことなど具体的な情報を提供する。</p> <p>③発熱や体調不良、ワクチン副反応、感染後遺症などの健康問題に対して、気軽に相談に応じる。</p> <p>④自宅療養者へのテレ対応もきめ細やかに行う。</p> <p>⑤CAPの存在を内外にPRし、役所内の関連部署に指示できる権限と予算を与えて実効性を上げる。</p> <p>⇒（以上のいくつかの項目はなんらかの形で実施しているかもしれませんが、私達には見えません）</p> <p>今こそ「市民の命と健康は市が守る」メッセージが必要だと思います。このプロジェクトが機能し始めれば市民の不安は和らぎ、次なる必要な新しい施策（多少難しくても）に対しても官民共同で実現できると信じます。</p>	<p>現在、市では専門家（保健師）を集めた、新型コロナウイルス感染症の予防に関するプロジェクトチームは実施していませんが、管理職の保健師を保健師業務調整担当課長に任命し、市役所における集団接種会場には、各課の保健師全員の協力を得て、対応しております。</p> <p>新型コロナウイルス陽性者濃厚接触者の対応については、東京都で一括管理し、市では感染者数や感染した年代等の情報を毎日、メール配信サービスと市ホームページに掲載しております。情報発信は重要な取り組みでありますので、今後も工夫してまいります。</p> <p>また、さまざまな健康問題に関する相談は、電話での相談や健康相談事業などで相談を行っているほか、ワクチン接種に関することも市保健師をはじめ、国のコールセンターや東京都のワクチン相談センターなどを紹介しております。これらの情報も市ホームページに掲載しております。</p> <p>さらに自宅療養者については、市内において新型コロナウイルス感染症陽性患者が発生し続け、自宅療養されている方が大勢いたことから、東京都からの支援が届くまでの間について食料品等の支援を9月4日から当面の間、実施しています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策は、今後も続けていく必要があると考えておりますので、様々な課題に対し、創意工夫をしながら、対応してまいります。</p>
8	・ がん検診の自己負担額が変更になりましたが、市からの補助金が多くなったのは、どういう意図でなったのか。受診者にはたすかる、若い人も受けやすくなって良いですね。	がん検診の自己負担額の変更につきましては、西多摩地域の他市町村と比較し、あきる野市の自己負担額が多かったことから、受診しやすい環境にするため減額することとなりました。
9	・ 骨粗しょう症の検診は、健康のつどの時毎回受ける人数が多いため大変な思いをしていると思います。地区毎の検診を多く行ってはどうか。	骨粗しょう症検診事業として、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の女性を対象に、前腕のX線による検診を実施します。令和2年度は事業を中止したため、令和3年度は対象者を2年分に拡大し実施する予定です。 <p>検診事業とは別に、超音波による骨密度測定を、年齢、性別問わず、地域イキイキ元気づくり事業や地域健康教育として行っております。令和元年までは市内全域で実施しておりましたが、令和2年から感染防止対策のため中止しております。</p>

10	・コロナの情報をもっと欲しい（例：子どもの接種でききる野市は他市に比べて多いので、成長期の子どもにワクチンを打って、副作用の心配をしています。）	新型コロナウイルスの情報につきましては、市ホームページに国や東京都における新型コロナウイルス感染症対策、新型コロナウイルス感染症に関する支援策、新型コロナウイルス感染症対策における市の対応などを掲載しております。今後も広く情報を発信してまいります。
11	・現在感染力の強い「デルタ株」の感染拡大が続いており、都から各地方へも拡大している状況です。いつか「収束」することはあっても、「終息（完全制圧）」することはないと思います。歴史的に見ても1例（天然痘）のみ。従って従来のインフルエンザを含め感染予防策の徹底等を最優先に図っていくべきではないでしょうか。	市ではホームページで新型コロナウイルス感染症に負けない毎日を送るために～健康課保健師・栄養士からのお知らせ～や新型コロナウイルス感染症に負けないからだづくり～食生活のポイント～を掲載しております。今後も感染症に係る対策を進めてまいります。
12	・コロナ禍での事業展開には苦勞が多いかと思いますが、可能な限りの対策と工夫の上で実施していただけたらと思います。	今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら健康づくり事業を進めてまいります。
13	・後日コロナを言い訳にしないように健康維持に取組を進めていけるよう期待しています。	
14	・コロナ下における健康、育児への影響を評価し、継続した支援体制を組むことができるような取り組みがあるとよいと考えます。また、今後同様のパンデミックがおきた際の健康課事業における対策を検討する機会があるとよいと考えます。	(母子保健係回答分) 乳幼児健診や各種相談・教室等の母子保健事業については、人数制限や予約制などを取り入れ実施をしております。今後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策を徹底して、さらに、必要な方が利用しやすい体制を検討していきます。

(3) 総合計画基本計画指標案について

	委員からの意見	事務局コメント
1	・あきる野市に住んで良かったと思われる保健、医療の充実よろしくお祈いします。	今後もあきる野市医師会等の関係機関の協力を得ながら事業を進めてまいります。
2	・ちょっと見方が分からない。	資料については見方の説明を表記するなど、今後も分かりやすい資料の作成に努めます。
3	・詳しくは理解できていないのですが、現状よりも高めの目標設定かつ実現可能なものとなっていると思われる。	別紙のとおり、指標と目標値を設定させていただきます。追加の項目につきましても、ご確認をお願いいたします。

その他 本協議会に関する意見や健康課への連絡事項がございましたらご記入ください。

	委員からの意見	事務局コメント
1	・このような社会情勢で協議会ができず残念ですが、詳しく資料で把握することができました。	今後の協議会の開催方法につきましては、感染状況により検討してまいります。感染者数が減少している状況が継続され、通常の会議として開催できることを願っております。
2	・計画が様々延期、中止となり大変と思います。	新型コロナウイルス感染症の都内及び市内の新規感染者数が減少していることから、徐々に事業を再開することが出来るようになりました。今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら健康づくり事業を進めてまいります。
3	・コロナ禍の中毎年変化するたびに色々と予定されていた事が中止になり、健康課の方々もやりにくい時でしょうがよろしくお祈いします。	今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら健康づくり事業を進めてまいります。

4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、いつも行事を進めていくことは大変かと思えます。出来ることからすすめてください。 	<p>今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら健康づくり事業を進めてまいります。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イキイキ元気づくり事業が活動できない時今まで出席していた方に訪問していただき、健康状態を確認してもらい皆さん安心しております。ワンポイント、脳トレ、フレイル予防、感染予防のチラシを参加していない方、一人暮らしの方に配付して喜ばれています。 	<p>参加者の家庭を訪問することで、生活環境や自宅での様子を把握することができました。また、訪問時の相談から介護保険の申請など他機関へ繋ぐ支援を行うことができました。今後は地域の協力者の方々と相談しながら、徐々に事業を再開してまいります。 イキイキ通信は、地域イキイキ元気づくり事業を中止している期間でも、自宅で介護予防、認知症予防に取り組んでいただくために作成している資料です。町内会・自治会の希望により、回覧や世帯配布していただいている地区もあります。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様となかなか活動ができず寂しい限りです。早くお会いできることを楽しみにしております。 	<p>新型コロナウイルス感染症の都内及び市内の新規感染者数が減少していることから、徐々に事業を再開しております。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・書面だけだと分かりにくいので早く開催できるといいですね。 	<p>今後の協議会の開催方法につきましては、感染状況により検討してまいります。感染者数が減少している状況が継続され、通常の会議として開催できることを願っております。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのコロナパンチ！大作戦のエピソードを見ましたら、今まで意外と自宅近辺の良い所は目に入らなかったが、皆様の意見では、景色や花に関心を持って歩くことに色々知識が広がってよかったことが書かれていました。遠くに行かなくても、あきる野市の四季を楽しん歩く事をもっと多くの方に知らせたいです。 	<p>「あきる野を一人でも楽しく歩いて健康づくり コロナパンチ！大作戦～第3弾！！～」を令和3年11月15日から令和4年1月31日まで実施しています。ぜひ、ご家族、地域のみなさまにもお知らせしていただき、多くの方が参加されることを願っております。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も集合型の会議が困難な状況は充分に考えられるので、Web会議についてご検討いただけたらと考えます。 	<p>現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、会議の形式を決定しています。委員会でのweb会議については市のWebシステム及び委員の皆さまからのご意見と併せweb環境を確認させていただいた上で検討いたします。</p>